



## 仙台白百合女子大学

人間学部 心理福祉学科

**渡邊兼行** (わたなべ ともゆき)

所在地：宮城県仙台市泉区本田町 6-1

<http://www.sendai-shirayuri.ac.jp/>

Profile—わたなべ ともゆき

仙台白百合女子大学人間学部心理福祉学科教授。専門は認知心理学。著書は『English Lexicography in Japan (日本の英語辞書学)』(分担執筆, 大修館書店) など。



### 仙台白百合女子大学の紹介

仙台白百合女子大学は、宮城県仙台市泉区に位置する女子大学です。仙台駅から地下鉄南北線に乗って15分ほどの泉中央駅から、さらにバスで10分ほどのところに大学があります。学生たちの中には、泉中央駅から自転車や徒歩で通学する人たちもいますが、それでもそんなにかかりません。歩けば、ちょっとした運動になるくらいの距離でしょうか。

また、本学は東北で唯一の4年制のカトリック大学でもあります。敷地内にはシスターの住む修道院もあったり、学内のところどころに聖書にまつわるステンドグラスや彫像がそれとなくあったりと、雰囲気醸し出しています。全国に幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学を展開する学校法人白百合学園の一員でもあり、東京にある白百合女子大学とは姉妹校の関係です。

本学は、人間学部の1学部だけの小さな大学ですが、人間発達学科、心理福祉学科、健康栄養学科、グローバル・スタディーズ学科というバラエティに富んだ4学科から構成されています。いずれの学科も「人間の理解と援助」をテーマに、それぞれの学問分野から人間の幸福を追究しています。

仙台白百合女子大学の開学は、前身の仙台白百合短期大学の創立にさかのぼります。短期大学から数えると、本学は今年でちょうど

設立50周年、4年制に移行してからも20周年を迎えました。

本学に心理学を学べる学科ができたのは、4年制に移行した際に設置された人間発達学科が最初です。人間発達学科では、心理学をはじめ、社会学、教育学の三つの学問分野から、人間の発達について学び、探究することを目的としていました。その後、保育士養成課程と幼稚園教職課程の設置を機に、保育者養成を目的とした子ども発達専攻と心理学を中心に学ぶ発達科学専攻に専攻分離し、さらに、発達科学専攻は心理発達専攻に名称を変更しました。その間、多くの卒業生が日本心理学会認定心理士を取得して巣立ちました。卒業生たちは、資格取得をきっかけに、様々な職場で心理学を生かして働いています。

現在の心理福祉学科が誕生したのは2013年度の学科再編時で、前述の人間発達学科心理発達専攻を引き継ぎ、福祉専門職の養成を手掛けてきた総合福祉学科と合併する形で生まれました。したがって、心理福祉学科は今年度ようやく完成年度を迎え、来年3月に初めての卒業生を送り出すことになる、新しい学科ということになります。

### 心理福祉学科の紹介

心理福祉学科では、心理コースと福祉コースの二つのコースを用意しており、学生たちは2年進級時に自分の学びの重心をどちら

に置くかによって、コースを選択します。心理コースでは認定心理士のカリキュラムに準拠した標準的な心理学の学部教育を提供しつつ、希望者は教員免許や介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士の三つの国家試験受験資格から一つを目指すことができます。福祉コースでは、三つの国家試験受験資格から二つまでの取得を目指すことができ、また、希望者は福祉の資格に加えて認定心理士の取得も目指すことができます。

心理福祉学科の教員は14名で、そのうち心理学を専門とする教員は4名です。鈴木敏明(教育心理学)、茂木千明(家族心理学、臨床心理学)、森本幸子(臨床心理学)、渡邊兼行(認知心理学)と、人数は多くありませんが、心理学の各領域に割とバランスよく配置されています。これに加えて、介護福祉関係の教員が3名、社会福祉関係の教員が5名、精神保健福祉関係の教員が2名という学科教員の構成になっています。

### 心理福祉学科の教育の特徴

心理福祉学科の教育の特徴の一つは、少人数教育による面対目の良さにあります。そういった例の一つとして、1~2年のゼミである「心理福祉総合演習Ⅰ・Ⅱ」が挙げられます。1年の入学時から10人前後から成る少人数のゼミを行い、大学生活で求められる様々なスキルを学びます。このゼミは単なる一授業ではなく、高校

までで言えばホームルーム的な役割も担っており、学生一人ひとりに目が行き届く体制をとっています。さらに、2年ゼミには教員、学生とも同じメンバーが持ち上がり、心理と福祉のコースの学生が入り混じって、社会の様々な課題についてのフィールドワークを行っています。こういった活動を通して、調査能力はもちろんですが、チームで働く力や、社会に出るためのコミュニケーション能力も養われます。

それ以外の授業についても、大学・学科とも小規模なため、少人数のクラスでの授業が多く、大規模クラスの中で学生が埋もれてしまうということはありません。

二つ目の特徴としては、心理学と社会福祉学の二つの学問が学べる点が挙げられます。「社会福祉入門」や「心理学基礎論」といった基礎的な科目はコースにかかわらず必修となっていますし、心理・福祉職の現場に出て観察・実習を行ったり、現場で実際に働いておられる方々のお話を聞いたりする「心理福祉実習」が1年次の必修として置かれています。こうやって、心理学と社会福祉学の両方に触れながら、より自分に合う道を探していけるようになっていきます。

また前述のように、心理コースを選択した学生が福祉の資格を目指すことができるのも大きな特徴です。心理コースの学生の3分の1ほどが、何らかの福祉資格の取得も目指しており、中でも精神保健福祉士の取得を目指す学生が多いようです。福祉職は心理学での学びを生かすことのできる職場の一つですので、専門的な資格も同時に取得できることは大きな魅力ではないかと考えています。

もちろん心理コースでは、心理

学を究めて心理の専門職を目指そうという学生もいます。前身の人間発達学科でも毎年大学院に進学する学生が数名おり、臨床心理士などの資格を取得して心理職として現場で活躍しています。今年度卒業予定の学生の中にも、大学院進学を目指す学生がおり、受験に向けて準備を進めています。

一方、多くの心理コースの学生は一般企業に就職することになると予想されますが、仙台白百合女子大学では、キャリア支援も手厚く行っています。前身の人間発達学科心理発達専攻の昨年度の卒業生の就職率は100パーセントを達成し、来年3月に卒業する心理福祉学科の一期生の就職にも期待が持てます。学科独自の取り組みとして、「自己理解と心理学」「キャリア発達心理学」など、自分のキャリア形成に役立つ講義科目を置いたり、短期のインターンシップを行ってその成果を心理学と結びつけて考察し報告する科目を設けて卒業単位化するなど、学科の心理学教育の中にキャリア支援・就職支援につながるしくみを組み込むことを試みています。

心理コースのカリキュラムの特徴としては、研究法にあたる科目を充実させているところにあります。1年次には2科目を使って通年で心理統計をしっかりと学び、1年後期から2年前期にかけては基礎実験で実験の流れをつかみ、実験レポートの書き方を学びます。2年前期には論文購読、後期には観察法、実験法、質問紙法、面接法の各研究法を学ぶ科目が並び、方法の背景にあるロジックを学んで、研究のデザインができるように学びを進めます。3年には、心理査定 of 講義と実習、カウンセリングの講義と演習など、主に心理臨床の技術的な基礎を学ん

でいきます。こうした研究法についての学びは、3～4年のゼミにつながり、最後には卒業論文に結実するようにカリキュラムが設計されています。

### 学生たちの活躍

女子だけの小規模な大学ですので、サークル活動などは残念ながらそれほど活発ではありません。その代わりに、学内外の様々な企画や催しで学生たちの活躍が見られます。学外に向けてはボランティア活動が盛んです。医療、福祉、教育といった現場に短期または長期のボランティアとして赴き、先々から高い評価をいただいております。ほぼすべての学生が4年間のうちに何らかのボランティア活動を体験しています。

また学内的にも、年に数回行われるオープンキャンパスでの学生企画、学生FD (Faculty Development) での授業改善への主体的なかかわり、資格試験対策などの自主ゼミ活動など、学生主体の活動が様々に展開されています。

### さらに詳しく……

学科のさらなる詳細については本学の公式ウェブサイト (<http://www.sendai-shirayuri.ac.jp>) をご覧ください。また、4月よりブログも立ち上げ、学科の様子について情報発信しております (<http://sendai-shirayuri-psw.blogspot.jp/>)。こちらもぜひご覧ください。



5号館：実験のための設備を備えた心理学演習室や福祉のための実習室があります。